

令和8年度

日本造園修景協会神奈川県支部 視察研修会

日時：令和8年10月10日（土）15:00－16:35

会場：横浜市技能文化会館 801研修室

（横浜市中区万代町2-4-7）

JR 関内駅、市営地下鉄「伊勢佐木長者町」徒歩5分

講師：東京農業大学地域環境科学部

造園科学科 教授 **服部 勉** 先生

（研究分野：景観計画・庭園文化等）

山を抱き、海へ開き、
記憶を未来へ。

神奈川の 造園文化

— 風土・素材・記憶と未来 —

土地を読み、石を採り、植物を育て、
海へ庭を開き、人が集い、文化を編集し、
記憶を未来へつないできた。
神奈川という土地から何を受け継ぎ、
次の時代へどのような風景を
残していくのか。

6つの視点



I

山に抱かれる庭
—鎌倉の谷戸—



II

神奈川から生まれた
造園素材



III

江戸園芸から
世界へ



IV

海へ開く庭
—神奈川の
別荘庭園文化—



V

文化を記憶する庭
—原三溪と三溪園—



VI

時間を記憶する庭
—杉本博司と
江之浦測候所—

2027年、GREEN×EXPO 2027を神奈川が培ってきた園芸・造園文化を次代につなぐ契機としてとらえる。
神奈川という土地から何を受け継ぎ、次の時代にどんな風景を残していくのか。